



TITLE:

「つめたい雨から生まれる
あたたかいコミュニケーション」

麻生 峻介

神奈川県立神奈川工業高等学校

僕たちは空模様や、特に天気予報を見ることなどで雨を予想し、雨具を備えます。しかし、予報は残念ながら必ず当たるとは限らず、雨具などの準備が不十分な状況での雨は少なからず訪れます。今回僕はそんな雨に対する雨具に着目し、多くの人の助けとなって、さらに老若男女問わず、誰もがよるこべるものを想像しようと考えました。

街灯、それは街中に数多くあり、無くてはならないものです。そんな存在である街灯と、雨具を混ぜあわせることで、予想できなかった雨の場合でも、定期的に設置されている街灯が雨具であれば、対応できるのではないかと考えました。

「未来の～」という自由度のたかいテーマがおかれていながら、なぜ「雨宿り」程度のものなのか。それは僕自身、雨をしのぐだけの雨具にしなくなかったからです。今回僕はさらに、現在も、そして未来になっても大切なコミュニケーションを生む場にしたいと考えました。少しの会釈、小さな会話でもあたたかい気持ちになれます。これらは現代において欠けているように考えられる中、いつの時代になっても大切にしていかなければならないと思っています。

